

エジプト

2020年11月19日
海外調査部・カイロ事務所

■経済回復基調も新型コロナの影響で一転、低迷へ

2018/19年度（2018年7月～2019年6月）の実質GDP成長率は5.6%で、前年度を0.3ポイント上回り、2019/20年度上半期も成長率5.6%を維持した。2011年の「アラブの春」で停滞した経済は回復基調にあり、2014/15年度以降4～5%のGDP成長率が続いていた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際通貨基金（IMF）は2020年の成長率を2.0%とし、低成長に転じると予測する。

産業別では、天然ガス、建設業、通信、観光業が好調だった。天然ガス（構成比5.2%）は、地中海沖の大型天然ガス田の生産が開始され、前年度比20.2%増と大幅に伸び、全体の成長に寄与した。政府は新行政首都、スエズ運河経済特区、工業団地など大型建設事業を進めており、建設業（6.2%）は8.8%増となった。また2020年2月に1億人を突破した国内人口が今後も増加見込みのため、住宅や商業施設の建設も進む。コロナ禍では、民間部門における建設に陰りがみられるが、雇用保護のために公共事業は継続されている。観光業（2.8%）は2011年の「アラブの春」以降の低迷から抜け出し、2017/18年度は37.7%増、2018/19年度は20.1%増と大幅な回復をみせた。しかしながら新型コロナ対策として2020年3～7月にかけて国際線が停止したため、観光業や外食など関連産業に甚大な損害を与える見通しだ。

外貨準備高は2020年2月末に455億ドルで過去最高水準だったが、新型コロナ発生後の5月末には360億ドルに減少した。5月以降にIMFから計79億ドルの新型コロナ対策の融資を受け、外貨不足は免れるものの、対外債務は増加傾向だ。消費者物価上昇率は2017年に前年比29.5%まで上昇したが、2019年には前年比9.2%、2020年7月に前年同月比4.6%で徐々に落ち着いている。

■石油製品が輸出を後押しし、輸入減で貿易赤字は縮小

2019年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比3.7%増の303億ドル、輸入は3.0%減の780億ドルとなり、貿易赤字は前年に比べ縮小した。輸出では最大品目である石油製品（ガス含む）が構成比（10.3%）で原油を上回り、83.7%増と大幅に伸びて輸出を後押しした。原油（6.3%）は国内生産が縮小し、10.1%減となった。国別では、構成比（7.2%）が最大の米国で既製服が伸び、27.9%増となった。輸入では、国内での天然ガス生産増加を受けて米国やサウジアラビアからの輸入が減少し、構成比最大（8.1%）の石油製品（ガス含む）が25.5%減となった。自動車は欧州からの完成車輸入に係る関税が撤廃されたものの、6.7%減となった。小麦、食肉、家畜用含むトウモロコシなど食料関連の輸入が増えた。国別では構成比が15.3%と最大の中国で、ボイラーおよび同部品などの輸入が増加し、4.5%増となった。

地域別では、エジプトと距離が近く関係が深いアラブ諸国向けの輸出が全体の約3割を占め、輸入においてもアラブ諸国の構成比が14.6%と高い割合を占めた。またインドとは、2019年にインド・コンクラーベ（経済会合）をカイロで開催するなど経済関係を強めており、対インド輸出額は前年比29.5%増、輸入額は28.6%増となった。インド向けには原油や肥料を輸出し、インドからは石

表1 エジプトの主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ドル、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年	2019年				2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
石油製品（ガス含む）	1,704	3,131	10.3	83.7	石油製品（ガス含む）	8,533	6,356	8.1	△25.5
原油	2,133	1,917	6.3	△10.1	鉄鋼一次製品	4,415	3,615	4.6	△18.1
既製服	1,598	1,689	5.6	5.7	小麦	2,620	3,000	3.8	14.5
肥料	1,378	1,323	4.4	△4.0	原油	3,544	2,877	3.7	△18.8
プラスチック一次製品	955	1,114	3.7	16.6	プラスチック一次製品	2,874	2,786	3.6	△3.1
各種調整食料品	697	711	2.3	2.0	無機・有機化合物	2,302	2,681	3.4	16.5
生鮮果実	537	539	1.8	0.4	薬剤・医薬品	2,282	2,580	3.3	13.1
じゅうたん・キリム	314	308	1.0	△1.9	自動車	2,670	2,492	3.2	△6.7
乳製品	312	300	1.0	△3.8	食肉	1,664	2,101	2.7	26.3
せっけん類	301	270	0.9	△10.3	トウモロコシ	1,836	1,918	2.5	4.5
総額（その他含む）	29,230	30,305	100.0	3.7	総額（その他含む）	80,473	78,043	100.0	△3.0

〔出所〕エジプト中央動員統計局

表2 エジプトの主要国・地域別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ドル、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年	2019年				2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
米国	1,717	2,196	7.2	27.9	中国	11,436	11,955	15.3	4.5
アラブ首長国連邦(UAE)	1,980	2,056	6.8	3.8	米国	5,400	5,148	6.6	△4.7
トルコ	2,005	1,721	5.7	△14.3	サウジアラビア	5,639	5,139	6.6	△8.9
サウジアラビア	1,429	1,684	5.6	17.8	ドイツ	4,120	4,315	5.5	4.7
イタリア	2,041	1,673	5.5	△18.0	トルコ	3,295	3,650	4.7	10.8
英国	1,337	1,539	5.1	15.1	ロシア	4,832	3,597	4.6	△25.6
インド	1,145	1,483	4.9	29.5	イタリア	3,487	3,278	4.2	△6.0
スペイン	1,279	1,040	3.4	△18.7	インド	2,283	2,937	3.8	28.6
ヨルダン	654	876	2.9	33.9	ブラジル	3,070	2,778	3.6	△9.5
リビア	633	825	2.7	30.3	ウクライナ	2,236	2,351	3.0	5.1
日本	132	126	0.4	△4.5	日本	1,224	1,199	1.5	△2.0
アラブ諸国	9,468	10,080	33.3	6.5	アラブ諸国	12,941	11,406	14.6	△11.9
総額（その他含む）	29,230	30,305	100.0	3.7	総額（その他含む）	80,473	78,043	100.0	△3.0

〔出所〕エジプト中央動員統計局

油製品や綿糸などを輸入している。今後、アフリカ大陸自由貿易圏による関税撤廃が実現すれば、アフリカ内での貿易も拡大することが期待される。

■対内直接投資は増加、日本からは減少

エジプト中央銀行によると、2019年の対内直接投資額は前年比20.2%増の175億ドルで、前年同様、エジプトがアフリカ最大だった。EUが構成比64.2%と存在感を示し、34.5%増となった。国別では、英国（構成比38.9%）が引き続き最大で、38.0%増、イタリア（3.0%）はガス関連の投資が伸びて2.8倍だった。日本からの投資は製造業の設備投資などを受け、50.0%増の約6,000万ドルであった。エジプト政府は外資を呼び込むため、輸出品製造や雇用を創出する企業、政府プロジェクト参画企業への減免税措置や外資系企業の課題解決に取り組むなど投資促進施策を行っている。なお、対外直接投資は32.2%増の85億ドルだった。

■日本との輸出入が増加、貿易黒字は縮小

日本の財務省貿易統計(通関ベース)によると、2019年の対エジプト貿易は輸出が9億1,060万ドル、輸入が1億3,974万ドルで、日本の貿易黒字となった。日本の最大の輸出品目である輸送用機器(構成比38.7%)の中で、乗用車(7.2%)は前年比51.9%減と大幅に減少したが、バス・トラック(23.2%)は37.8%増と好調だった。乗用車のほか、原動機(7.0%)も29.2%減少し、輸出総額減少の要因となった。

2018年は鉱物資源や食品輸入が増加して、輸入総額は前年から倍増したが、2019年は48.4%減と大幅に縮小した。食料品輸入が10.4%増だったものの、構成比の約5割を占める鉱物性燃料が65.3%減となった。日本とエジプトの貿易は構成比が大きい輸送用機器の輸出と鉱物性燃料の輸入の動向に大きく左右されるが、新型コロナの影響により2020年の貿易は減少が見込まれる。

表3 エジプトの国・地域別対内直接投資
(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位:100万ドル、%)

	2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率
英国	4,944	6,825	38.9	38.0
ベルギー	2,245	2,227	12.7	△0.8
米国	2,294	1,367	7.8	△40.4
アラブ首長国連邦(UAE)	1,053	1,360	7.8	29.2
オランダ	653	949	5.4	45.3
クウェート	411	539	3.1	31.1
イタリア	192	532	3.0	177.1
カタール	215	482	2.7	124.2
サウジアラビア	406	378	2.2	△6.9
フランス	245	344	2.0	40.4
日本	40	60	0.3	50.0
EU	8,376	11,264	64.2	34.5
アラブ諸国	2,472	3,394	19.3	37.3
合計(その他含む)	14,597	17,546	100.0	20.2

[出所] エジプト中央銀行

表4 日本の対エジプト主要品目別輸出入(通関ベース)

(単位:1,000ドル、%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	350,776	352,690	38.7	0.5	鉱物性燃料	199,216	69,098	49.4	△65.3
自動車	300,727	301,508	33.1	0.3	石油製品	125,714	37,219	26.6	△70.4
乗用車	135,605	65,201	7.2	△51.9	揮発油	125,633	37,203	26.6	△70.4
バス・トラック	153,064	210,981	23.2	37.8	液化天然ガス	73,502	31,879	22.8	△56.6
自動車の部分品	49,128	49,297	5.4	0.3	食料品	22,068	24,359	17.4	10.4
一般機械	223,440	211,972	23.3	△5.1	野菜	6,378	7,010	5.0	9.9
原動機	90,018	63,710	7.0	△29.2	果実	9,800	12,638	9.0	29.0
ポンプ・遠心分離機	21,014	22,349	2.5	6.4	電気機器	16,178	13,201	9.4	△18.4
建設用・鉱山用機械	36,218	42,981	4.7	18.7	その他	9,938	12,720	9.1	28.0
原料別製品	161,628	106,663	11.7	△34.0	衣類・同付属品	6,016	7,987	5.7	32.8
鉄鋼	81,140	42,274	4.6	△47.9	原料別製品	11,461	11,976	8.6	4.5
ゴム製品	60,906	52,084	5.7	△14.5	織物用糸・繊維製品	9,555	10,908	7.8	14.2
化学製品	69,497	83,007	9.1	19.4	原料品	6,073	5,136	3.7	△15.4
プラスチック	46,199	51,940	5.7	12.4	化学製品	5,017	2,954	2.1	△41.1
電気機器	95,449	77,166	8.5	△19.2					
食料品	47,377	26,968	3.0	△43.1					
合計(その他含む)	994,033	910,604	100.0	△8.4	合計(その他含む)	270,710	139,744	100.0	△48.4

[出所] 財務省「貿易統計」(通関ベース)を基に作成

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口:9,985万人(2020年1月1日)			
②面積:100万1,450km ²			
③1人当たりGDP:3,020米ドル (2019年)			
④実質GDP成長率 (%)	5.3	5.6	5.6
⑤消費者物価上昇率 (%)	29.5	14.4	9.2
⑥失業率 (%)	11.3	8.9	8.0
⑦貿易収支 (100万米ドル)	△37,276	△38,034	△18,704
⑧経常収支 (100万米ドル)	△5,962	△10,894	△4,574
⑨外貨準備高(100万米ドル)	33,214	38,609	40,685
⑩対外債務残高(グロス) (100万米ドル)	92,644	108,699	112,671
⑪為替レート(1米ドルにつき、 エジプト・ポンド、期中平均)	17.78	17.77	16.77

〔注〕④⑦⑧⑩：エジプト年度（7月～翌年6月）、2019年は上半期（2019年7～12月）の数値
 〔出所〕①⑤⑥：中央動員統計局（CAPMAS）、②：国家情報サービス（SIS）、③⑨⑪：世界銀行、④⑦⑧⑩：エジプト中央銀行（CBE）

(お問い合わせ先)

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp